

講義名	解剖学実習
開講学年	2
単位	1

授業の達成目標	体の構造をイラストを通じて理解してもらう。各器官の働き、特徴を踏まえ、臨床栄養学に通ずる内容の理解を目標とする。
授業の概要	塗り絵で体の器官の構造、名称を理解する。
授業形式	講義

授業計画

回	項目	内容	キーワード・備考
1	神経・感覚系	眼の構造と働きについて、鼻の中の構造と働きについて	網膜・水晶体・視神経・鼻腔・臭細胞
2	神経・感覚系	耳について（三半器管、蝸牛の働きや構造について）	三半器管・蝸牛・聴神経
3	消化器系	口腔や食道の働きや構造について	口腔・歯・食道・喉頭
4	消化器系	消化器系について（胃の働きや構造について）	胃・噴門・幽門・大弯・小弯
5	消化器系	消化器系について（小腸・大腸の働きや構造について）	十二指腸・空腸・回腸・絨毛・盲腸・結腸・直腸・虫垂
6	消化器系	肝臓や胆のうの働きや構造について	肝臓・胆のう・門脈・総胆管
7	消化器系	膵臓について（外分泌や内分泌の特徴や構造について）	膵臓・外分泌・内分泌
8	泌尿器系	泌尿器系について（腎臓の働きや構造について）	糸球体・尿細管・腎盂

9	泌尿器系	泌尿器系について (膀胱や尿道の働き や構造について)	尿管・尿道・膀胱
10	呼吸器系	肺について(肺動静 脈、肺胞、横隔膜の 動きについて)	肺動静脈・肺胞・横 隔膜
11	循環器系	心臓について(冠状 動脈の働きや血液の 循環の仕方につい て)	冠状動脈・心房・心 室
12	まとめ	解剖学実習まとめ	

事前・事後学習の内容	解剖学、生理学、臨床栄養学など関連する 教科と並行して、予習・復習を行う
成績評価の方法	授業の出欠、学期末試験による総合判定 S・A+・A-・B+・B-・C+・C・D で判定(Dは不合格)(S:90点以上、 A+:85~89点、A-:80~84点 B+:75~79点 B-:70~74点、 C+:65~69点、 C:60~64点、D:59点以下)
参考書	ぬりえで学ぶヒトのからだ(ぱーそん書 房)
教材	プリントの配布、色鉛筆